

可搬消防ポンプ
VF53BS / VF63BS
点検項目

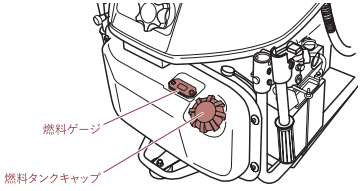


日常点検項目

定期点検項目

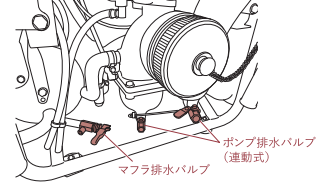
燃料の点検

1 燃料タンクはいつも新しい燃料で満タンに
古い燃料は不調のもと。異臭や濁っていたら交換
しましょう。



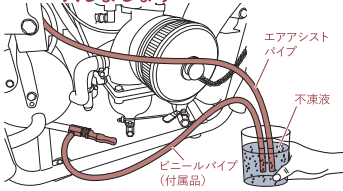
ポンプ及びマフラの排水

8 放水運転後はポンプ及びマフラのド
レンバルブにより排水しましょう



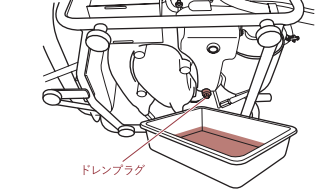
ポンプと真空ポンプの不凍液の入れ方

15 保管時の気温が0℃以下になる場
合は、マフラドレンバルブとエア
アシストのパイプより不凍液を注
入しましょう



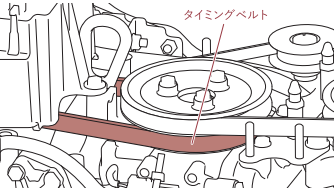
エンジンオイル

1 100 時間毎又は 1 年毎に交換しま
しょう



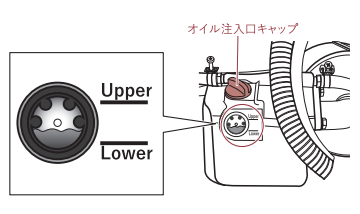
タイミングベルト

4 100 時間毎又は 1 年毎に点検しま
しょう
伸びや摩耗等があれば交換又は 3 年毎に交換しま
しょう。



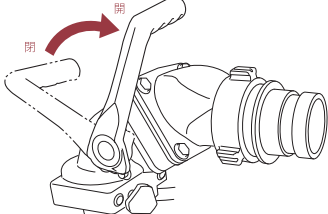
エンジンオイルの点検

2 エンジンオイルはいつも規定量に
オイル点検は必ずエンジン始動前に
オイル量が下限であれば補給を。



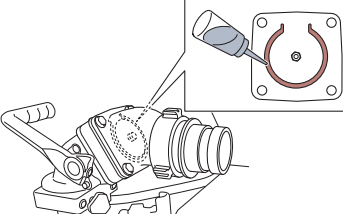
放水バルブの排水

9 放水運転後は放水バルブを全開にして
排水しましょう



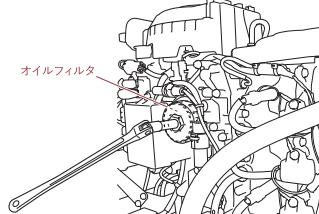
放水バルブの不凍液の入れ方

16 放水バルブのバルブにオイル差し
等で不凍液を注入しましょう



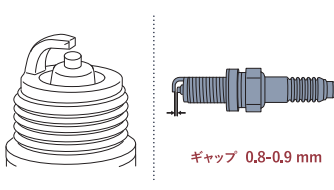
オイルフィルタ

2 200 時間毎又は 3 年毎に交換しま
しょう



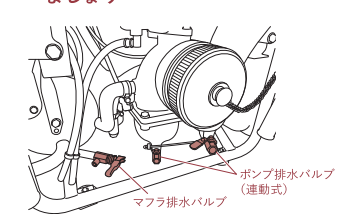
スパークプラグ

5 100 時間毎又は 1 年毎に点検しま
しょう
汚損状態やギャップ (0.8 ~ 0.9 mm) の状況によ
り交換又は 1 年毎に交換しましょう。



ドレンバルブの確認

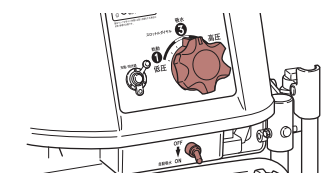
3 エンジン始動前にポンプ及びマフラ
ドレンバルブが閉じているか確認し
ましょう



真空ポンプの残水処理

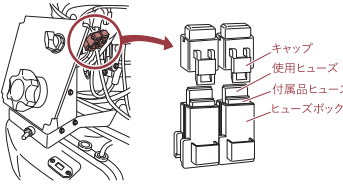
10 放水運転後は必ず真空ポンプのカ
ラ運転を行きましょう

排水後、吸水口キャップを取付けて 10 秒の吸
水操作を。その後、放水バルブとドレンバルブ
を閉じ、自動吸水操作を行ない、再度排水を。



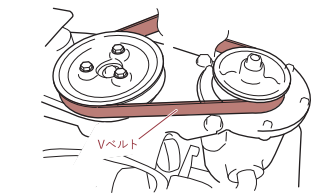
ヒューズの確認

17 ポンプの電源が入らない場合、投
光器が点灯しない場合、充電器が
異常表示した場合はヒューズを確認
しましょう



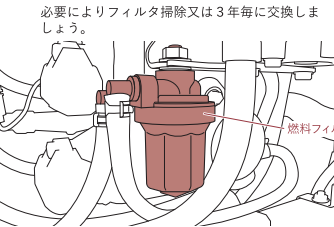
真空ポンプ V ベルト

3 100 時間毎又は 1 年毎に点検しま
しょう
伸びや摩耗等があれば交換又は 3 年毎に交換しま
しょう。



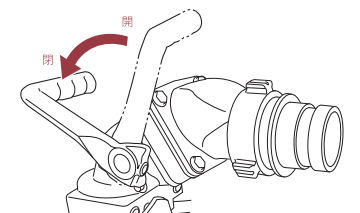
燃料フィルタ

6 50 時間毎又は 6 ヶ月毎に点検しま
しょう
必要によりフィルタ掃除又は 3 年毎に交換しま
しょう。



放水バルブの確認

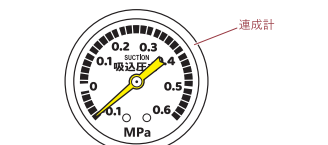
4 エンジン始動前に放水バルブが閉じ
ているか確認しましょう



真空機能の確認

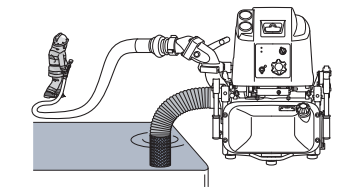
11 放水バルブとドレンバルブを閉じ、
吸水口キャップを取付け吸水操作
を行い、真空漏れがないことを確
認しましょう

確認後はドレンバルブを開け大気圧に。



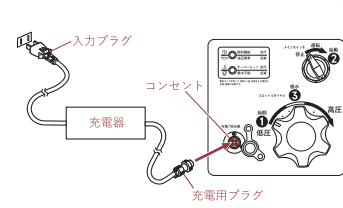
放水運転準備

5 平らな場所で水源の近くに設置しま
しょう
吸管にストレーナととりよけごを、消防ホース
に管鎖とノズルを使用して放水しましょう。



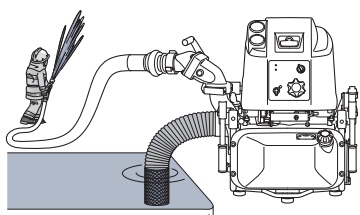
バッテリーの点検

12 保管時はバッテリーを常に充電しま
しょう
バッテリーは正しく取扱っても約 2 年で交換を。



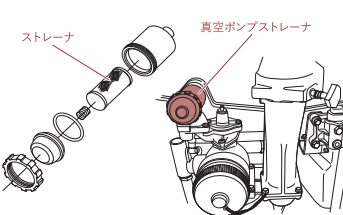
放水運転

6 月1回は0.4MPaの圧力で 10 分間
放水を行きましょう



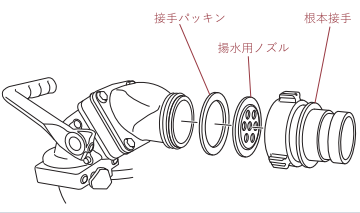
真空ポンプストレーナの掃除

13 汚れたストレーナは真水で洗浄し
ましょう



送水及び排水運転

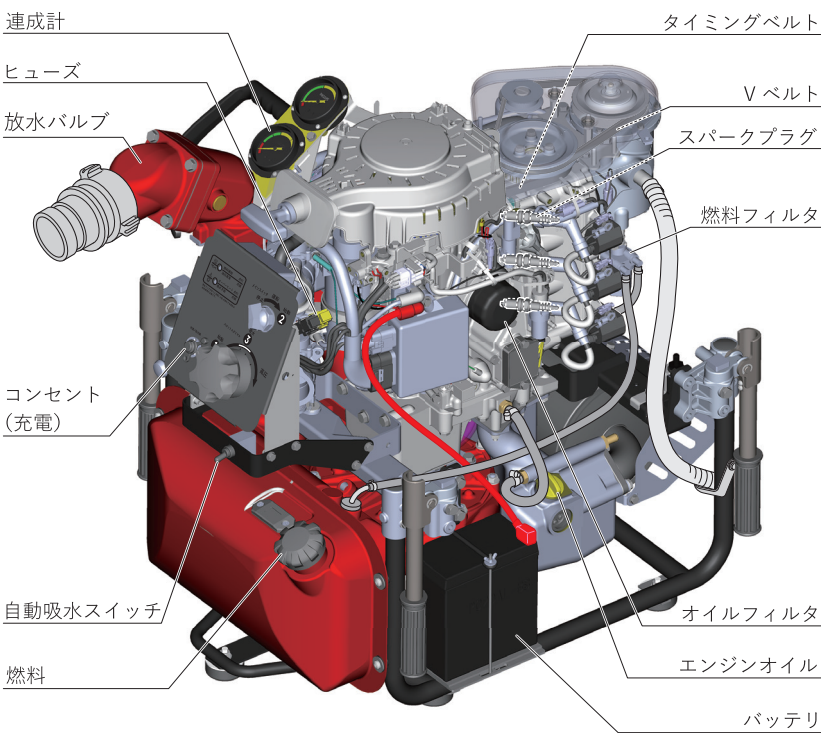
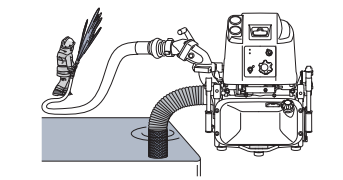
7 筒先ノズルを使用しない送水や排水
運転をする場合は、揚水用ノズルを
装着して放水しましょう



海水及び汚水使用後の処置

14 真水で放水運転を行い、ポンプ内
部を洗浄しましょう

放水運転時、吸水操作を手動で行い真空ポンプ
内部も洗浄しましょう。洗浄後は真空ポンプの
残水処置を忘れずに。



消防ポンプの維持管理

- 万一の火災 (災害) に備え、定期的な点検、整備が必要です。
- 耐用年数は、おおむね 10 年です。
- 定期点検整備は、6 ヶ月毎に実施してください。
- 定期点検整備は、可搬消防ポンプ等整備資格者が実施することをお勧めいたします。
- 補修用部品の供給は、生産打ち切り後 10 年とさせていただきます。

定期点検項目一覧

可搬消防ポンプは定期的に点検整備を行う必要があります。下記表に示した点検時期に指定の整備を実施してください。
定期点検は、運転時間もしくは期間 (月/年数) の先に到達したほうで実施してください。定期点検や整備は、購入した販売店にご相談ください。

点検箇所	運転時間もしくは期間	点検内容	交換期間	処置
燃料	使用後毎	タンク内燃料	6 ヶ月	補給
エンジンオイル	使用後毎	規定量の確認	—	補給
エンジンオイル	100 時間毎 / 1 年毎	—	1 年	交換
オイルフィルタ	200 時間毎 / 3 年毎	—	3 年	交換
スパークプラグ	100 時間毎 / 1 年毎	汚損状態やギャップ (0.8 ~ 0.9mm)	1 年	掃除、修正又は交換
真空ポンプストレーナ	使用後毎	ゴミの付着	—	掃除
真空ポンプ V ベルト	100 時間毎 / 1 年毎	伸び、摩耗	3 年	交換
バッテリー	1 ヶ月毎	電圧	2 年	必要により交換
燃料ホース	50 時間毎 / 6 ヶ月毎	損傷、接続部の漏れ	2 年	交換
燃料フィルタ	50 時間毎 / 6 ヶ月毎	—	3 年	フィルタ掃除
タイミングベルト	100 時間毎 / 1 年毎	伸び、摩耗	3 年	交換

※それぞれの項目の詳細は、各モデルの取扱説明書を参照してください。

